

## 一般質問Q&A

新風会・公明  
松山信裕  
議員



### ○ まちづくりについて ○ 勝山市の防災関係について 他

**問** 第6次勝山市総合計画の策定において、10年に1度の良い機会と捉え、未来を担う子どもたちが市政に興味を持ち、将来のまちづくりに積極的に参加してもらうことにより※シビックプライドの醸成を目的に、子どもたちに分かりやすくした「子ども版総合計画」の策定を提案したい。

**答** 子ども版総合計画については、変化が激しい社会において、これまで以上に必要とされる「問題発見・解決力」を養うツールとして市内小・中学校で活用できる内容にするとともに、将来の勝山市を担う子どもたちのまちづくりへの参画意識の醸成を図るため、第6次勝山市総合計画がスタートする令和4年度初めには作成、配付したい。

※シビックプライド：都市に対する市民の誇りや愛着だけでなく、まちをより良くするために自分自身に関わる当事者意識に基づき自負心

**問** 各地区自主防災組織の活動状況や様々な取り組みについて情報集約するなど、自主防災組織間で情報共有ができる体制を整え、適正な活動促進・育成・防災訓練などを進めて、地域全体の防災力を底上げし、組織力の向上を図ることを目的に、自主防災組織連絡協議会を創設すべきだ。

**答** 現在の自主防災組織の数は、全112地区の内65地区68組織で、組織率が58%に留まっている。組織率の向上に努めるとともに、各地区区長や県防災士会等と協議を進め、来年度中の自主防災組織連絡協議会設立に努めたい。



## 一般質問Q&A

新風会・公明  
吉田清隆  
議員



### ○ 新中学校の教室の空間整備について ○ 公共施設の改修計画状況について 他

**問** 文部科学省は、新たな時代の学びに合わせ、学校施設のあり方を見直し、教室を広くし、多目的スペースを設けること等を提言した。県内でも教室形態が大きく変化した学校があり、現在の教室等の配置と大きな空間に驚くほどの違いがある。今後の中学校再編に向けて、文科省の推奨に沿った計画や他学校への視察などについて伺う。

**答** 中学校の再編計画が認められた後、専門家等を交えた建設部会等を立ち上げ、施設機能等の検討に入り、プロポーザルを通じた新たな提案を盛り込んだ設計をしていきたい。

また、先進地視察については福井市の明道中学校や敦賀市の角鹿小中学校を視察しているが、今後必要に応じて検討していく。

**問** 「勝山市公共施設個別施設計画」には、平成30年度から35年度までの大規模改修計画や修繕計画の費用が記載されているが、令和3年度の修繕想定金額と当初予算では減額となっている。この計画の過去の改修や修繕内容、40年後までの修繕等の計画の進捗状況を伺う。

また、中学校再編後の現中学校の活用について、現状で具体的な案があれば伺う。

**答** この計画では、各施設構造や規模等から単純に割り出した金額だが、40年間で約1055億円の施設更新等の費用が試算されている。

また計画の中で、各施設の令和7年までの修繕計画を作成し、毎年施設管理者と市の建築技師が施設を点検しているが、40年間の修繕計画を作成し、毎年更新していくことは、作業量が膨大で非常に困難と考える。

現状の修繕計画をその都度修正し、各施設ごとの施設力ルテを活用しながら適切な管理に努めたい。

なお、国の予算の前倒し等により改修・修繕を早める場合もあり、当初の修繕計画と最新の修繕計画で金額の増減が生じるが、予算の関係で必要な修繕を行わないことはない。

中学校再編後の3中学校の跡地の活用案は、現時点ではない。地権者や地元の見解、市の考え方を交えて、今後の対応について協議していく。